

空間コメント

美術館外部や内部の土素材で構成された空間の土の壁（ハンチク）と土の床（タタキ）は「INAXの土を固める技術」が採用されました。「三内丸山縄文遺跡」の発掘現場からトレンチ（壕）のイメージで設計され、土の素材による室内は材料強度、空気汚染源にならないことや作品展示への適合性などが配慮されました。屋外は寒冷地のため、耐凍害性の問題や、施工法、表面テクスチャなどをクリアしました。設備品は（便器、洗面器、小便器、水栓、アクセサリなど）小さな金属、樹脂部品まで白色塗装して真っ白なトイレ空間を実現しています。白い内装タイルの目地は淡いピンク色で控えめな演出がされています。

DATA

設計：青木淳建築計画事務所
 施工：竹中・西松・奥村・北斗特定建設工事共同企業体
 所在地：青森県青森市大字安田字近野185
 竣工：2005年9月

商品情報

タタキ（土仕上げ、内外装床）
 ハンチク（土仕上げ、内外装壁）
 タイル／トイレ内装（4角特注：白素地に施釉）

外観ディテールアップ



“ハンチク”のディテールアップ



“タタキ”のディテールアップ

外観



B2Fの東側の“ハンチク”



トレンチ



B2Fの東側のハンチク



1階南側から見たトレンチと建物



企画展示室通路入口

内観ディテールアップ

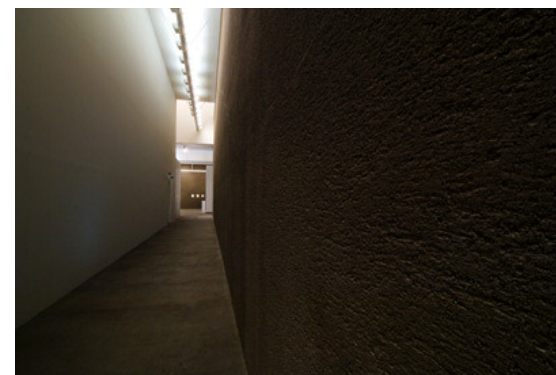


タイル：47角

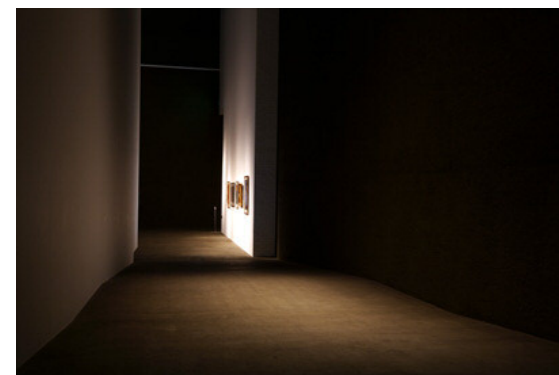


自動水栓：特注

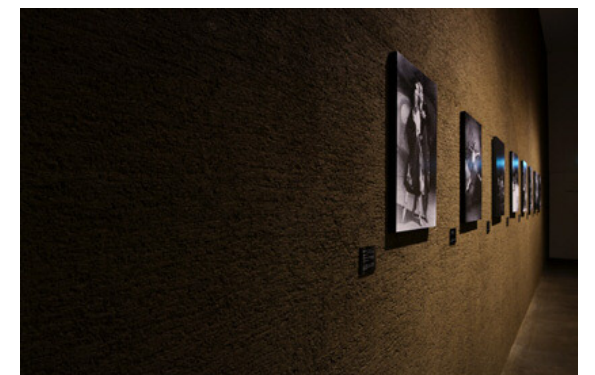
内観



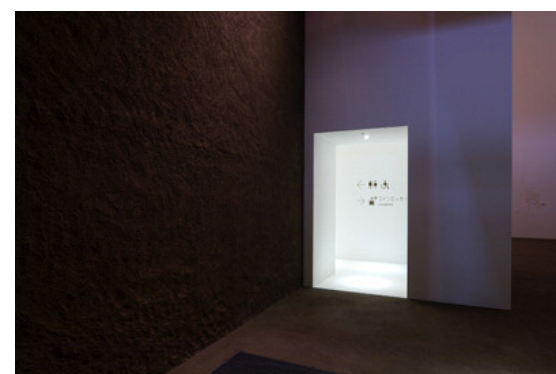
企画展示室通路



企画展示室通路



展示室



チケットトイレ入口



チケットトイレ 女性用



エントランストイレ 男性用